

2025年全日本・ジュニアカート選手権シリーズ第9・10戦

2025年9月20－21日



公式通知No5

2025年9月9日

1、2025年全日本・ジュニアカート選手権統一規則第29、30条 におけるスタート進行

- (1) 公式通知により指定されたスタート時間の5分前までにグリッドに着くこと
- (2) 全日本FS125・FP3・FP-Jrクラスは、フロントフェアリングを外した状態でグリッドへ入場し、メカニックあるいは、ドライバー自身が、車検員の監視下でフロントフェアリングを装置しなければならない。
- (3) グリッドの進入は、スタート時刻の5分前に締め切ります。

2、2025年全日本・地方・ジュニアカート選手権統一規則第29、30条 におけるスタート手順補足事項

- (1) スタート「1分前」のボードが示された時点からフォーメーションラップ開始時までの間であればいつでも、ドライバーは、エンジンを始動することが出来る。
- (2) エンジン不動等によりスタート困難なドライバーは、両手を頭上に高く上げ、合図しなければならない。この場合、黄旗を持つ担当オフィシャルの指示に従いカートをピットロードに移動する。
- (3) カートは、ピットロード移動後当該ピット要員の援助を受け再始動することが出来る。次いで担当オフィシャルの指示に従いフォーメーションラップの最後尾に加わることが出来る場合がある。

3、FS125部門、FP3部門、ジュニア部門のエンジン交換について

2025年全日本・地方カート選手権統一規則第16条2項2、により登録済エンジンが故障破損等した場合には審査委員会の承認のもとに、以下の条件に1回のみ交換することが認められる。

- (1) 交換後のヒートのグリッドポジションは、最後尾とする。（複数の場合先に申告した者を優先する）
- (2) 再登録料は、・全クラスクラス 2000円

4、2025年全日本カート選手権FS125・FP3部門回転数値測定器取付け方法

- (1) ホルダーのシートへの装着
 - 1) 以下に従いホルダー装着箇所の位置を決める。
ホルダー座面は、路面に対して垂直に近い角度とする。場合によってはスペーサー等を用いて調整する。
 - 2) ホルダーの設置箇所を決めてから、ホルダーの3つの穴に合わせてシートに3箇所穴（5mm）を開け、タイラップコードにてホルダーをシートに強固に装着する。
（注）ボルト・ネジ・ナットは使用禁止
- (2) エンジン測定器のホルダーへの装着
 - 1) 表示面が表側になるように測定器をホルダーにタイラップコード2本で装着する。
※表示面のMODE部分およびSET部分を操作しないように留意すること。誤って操作した場合には必ず技術委員長に申出る事、申出がない場合、ペナルティが課せられる場合がある
 - 2) 探知コードの先端をプラグコードにタイラップコード2本で強固に取り付け
※探知コードとプラグコードは連続して約20ミリ接触させること
※ビニールテープは、使用しないこと
- (3) エンジン測定器・ホルダーの配布
配布はタイヤ引き渡し時とし、返却は決勝ヒート終了時に車検場に返却すること。

